

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年5月15日

事業所名 こども発達支援センターあすいろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	0		
	2	職員の配置数は適切である	10	2	基準を満たした職員配置をし、有資格者を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	1	片付け場所を写真を使って表示したり、入ってはいけない場所は赤テープを貼っている。本人にわかりやすい構造化に課題があり、改善が必要な点がある	改善点や課題を職員間で共有し、常に環境改善に努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	心地よく過ごせる環境にまだ改善点がある	快適に過ごせるように日々の清掃と安全のために必要な配慮を行っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	時間の確保が難しいことも多くできる時できないときがある。週に2回ミーティングを設けている。	ミーティング時間をさらに確保できるようにする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	2	保護者と日々の情報共有を心掛けている。	8月開所のため今回が初めての評価実施となる。評価を職員間で共有し改善していく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	2		8月開所のため、今回が初めての評価実施となる。今後保護者との連絡ソフト、ホームページでの公開を検討する
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	0		8月開所のため、今回が初めての評価実施となる。評価を職員間で共有し改善していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1		各連携機関への見学、研修などできるかぎり参加できるように配慮している
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	作成を再度見直している	標準化されたアセスメントシートに沿いつつ、個別に必要とされるアセスメントを行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0		モニタリング会議後には会議で話し合われた内容や、支援の変更点注意点などを確認して周知するようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0		ミーティング時に目的を明らかにしつつ必要なプログラムをチームで話し合って作り上げている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	個々の年齢、個々の発達に応じたプログラム設定を考え、工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	12	0		集団活動への適応を目指しつつも、現状や個別の発達段階に応じて必要とされる支援を組み合わせることで個別支援計画を作成している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	17	11	1	大まかな打ち合わせはできているが、細かい役割分担までの打ち合わせをする時間が確保できていないときがある。	朝のミーティングではその日の利用者を確認し、注意すべき点支援すべき要点を説明し職員間で意識して関わられるようにしている。
	18	11	1	なるべく行うよう努めているが、時間が確保できていない日がある。十分には行えていないので、さらに情報共有を深めていく。当日行えないときは翌日に共有している。	記録作成時に確認したい点今日気づいた点については共有し、情報を共有し相談できるようにしている
	19	11	1		利用の際は活動記録を作成し、管理者が毎日読み返し、気づいた点や問題点があればフィードバックして職員間での情報共有と問題の認識に努めている。
	20	11	0		定期的にモニタリング会議を行い、モニタリング会議資料を作成し児童の現状把握に努め、問題を明らかにし会議に参加している
関係機関や保護者との連携	21	12	0	最もふさわしいものが参加できないときは事前に情報共有を行っている。	
	22	12	0	市の行政と連携し、必要に応じて相談している。	地域の保健師とは関係児童の件でのやり取りは定期的に行っている、また就園についてなどのアドバイスを親子通園に依頼して行ってもらったり、専門的助言が必要な時は連携して支援を行っている。
	23	12	0		医療的ケア児の訪問看護師や地域の保健師とは定期的に情報のやり取りを行っており、連携して支援を行っている
	24	12	0		医療的ケア児の利用の際は主治医や囑託医に指示書を依頼し、医療的ケア児のスコア表への記入を求めている。
	25	12	0		就園児にはサポートブックを個別に作成し、就園先で困りごとがないようにスムーズに適応できるように情報の共有が行えるように努めている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0		小学校進学時にはサポートブックを作成し、児童がすみやかに進学先で困りごとがないように定期的に保護者に確認を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1		親子通園や他市町村の児童発達支援センターとは見学や研修を行いながら、わからないことがあったら助言を求めするなどして連携している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	0		同建物内の児童に来館する子どもたちと一緒に活動する機会を設けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	12	0		地域の児童館会議、民生委員会会議へ参加して地域の事情を共有し連携して活動できるようにしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0		送迎の際には今日の活動の様子などを説明し、共通理解を持てるように関わっている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	0		昨年度ペアレントプログラムを3か月計6回行った。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0		契約時には重要事項説明書や受給者証の見方、利用者負担については説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0		個別支援計画を作成時には保護者と確認し同意を得ている。また連絡ソフトで常に個別支援計画を公開し、毎日の活動の記載時にも個別支援計画に基づいた日々の支援ができているかを確認するようにしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0		モニタリング会議時には保護者の困りごとについて伺っている。母子通所では振り返りの際に各有資格者によるアドバイスをする時間を設定している。また保護者のお迎え時などに何か話があればすぐに面談を設定するようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3	コロナ禍で父母会などの交流会が行えていない。	令和5年5月から定期的に保護者懇談会を開催する予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0		保護者からの面談希望にはすぐに対応していて、潤滑に意見交換できるように努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0		連絡ソフトにて当月の活動プログラム、献立表、レクチャーなど行われる催しについては告知している。事業所内には同じお知らせを掲示して、保護者に周知されるようにしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1		連絡ソフトを用いて撮れるときは写真も使って今日の活動をわかりやすく伝えるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	3		今年度うるまこどもステーション祭を開催する予定、地域の民生委員、児童館、自治会の方たちと顔の見える付き合いをしながら関係性を強めていく。
非	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	0		年に2回以上の訓練を行っている。訓練実施後の振り返りを行い、改善点があれば検討している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	1	確認している	予防接種についての確認はしていないので検討する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	3	保護者と連携して行っている。	アレルギーの申し出のある利用者について厚労省のガイドラインに基づき、医師の指示書を求めている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0		手に取りやすいところにヒヤリハット事例を置いて、いつでも見返せるように工夫している。些細な点でも気づきがあれば記入してもらおう職員間で周知している。ヒヤリハット事例があればすぐに原因を明らかにし、対策を検討し、実行している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1		入職時にはが虐待防止マニュアルの初期研修を行い、定期的に虐待防止委員会を開催している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	1		契約時には身体拘束についての事業所の規定についての説明を行っている。今後児童発達支援計画にも記載していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。